



今月の話題

- グローバルコース
- グローバルコース研修旅行レポート
- 国際親善パーティー
- 研修生募集
- 応募のための英語力証明
- 微動アレイ探索のためのフリーソフトウェア

研修データベース

IISEENET (地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース (修士論文概要)

Bulletin データベース

グローバルコース

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

IISEE の研修は、つくばから場所を移して講義や見学なども行われます。グローバルコースでは1月19日(金)に外務省を訪問してワークショップを行いました。その様子が外務省の「CTBT Japan」のフェイスブックに投稿(2月6日)されています。

<https://www.facebook.com/CTBT-Japan-1679872382049346/>



外務省での講義

グローバルコース研修旅行レポート

(1) Mr. Phuntsho Pelgay (ブータン)



過去、現在、そして未来の日本

「日本を知る」最良の方法は何かと、日本に来てからずっとこのことを考えていました。グローバル地震観測コースの関西への研修旅行が決まった時、この答えがでると大いに期待し、そして実現されました。

1月31日、新幹線に乗り東京駅から関西へ出発しました。新幹線の美しい形状と目の覚めるようなスピードは日本の技術と日本人が考える時間の価値を示してくれました。

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

論文募集

IISEE Bulletinは、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



翌日は広島原爆ドームを訪れ、日本史上に残る人災によって引き起こされた悲惨な過去を知ることになりました。1945年の広島への原爆投下による破壊状況は、当時の生存者の娘によって語られ、当時の被害の様子も正確に残されています。また、日本国家の急速な復興へ導いた日本人の強い精神力と忍耐力についても語られています。現在の広島の姿もその証です。多くの人々に核兵器が悲惨な結果をもたらすことを認識させるため、彼女の語りとこの事実を広く発信していく必要があります。

2月2日、淡路島の野島断層記念館へ訪れ、地震により地面がどのように隆起したのかを間近で学びました。日本は1995年の阪神・淡路大地震と2011年の東日本大震災のような自然災害が引き起こした辛く厳しい経験があります。人と防災未来センターでは、効果的で早急な復興プロセスは災害の影響を軽減する可能性があることを学びました。自然災害から目を背けず、受け入れることは私が今回学んだ教訓です。

3日目には文化都市である京都で中世後半から19世紀半ばまでの日本の文化的、行政的背景が示された3つの歴史的建造物を訪れました。それぞれの豊かな特質が日本の社会経済的進歩の基礎であると考えました。

未来は良い方向に向かっており、過去は苦い経験を与え、現在の日本は皆に賞賛されるべき存在となっています。

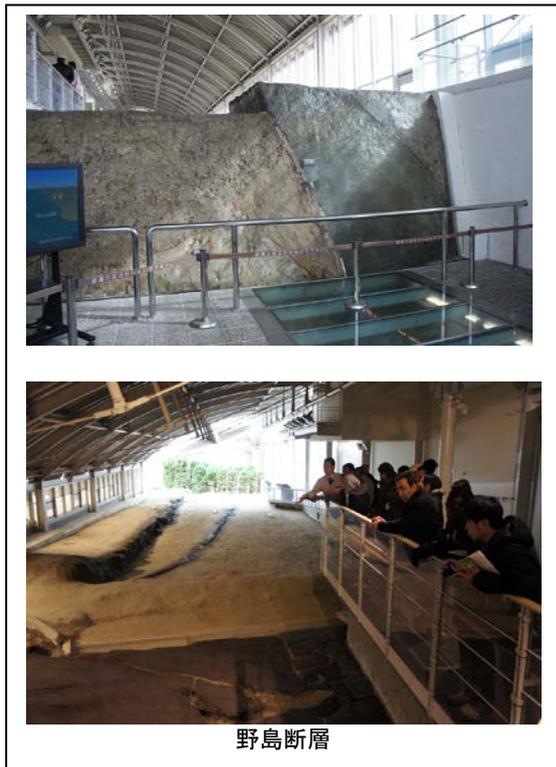
最後にIISEE、JICAおよびコーディネータの方々に、過去、現在、未来の日本が描かれた関西への研修旅行で指導いただいたことに感謝いたします。

(2) Ms. Viana Poveda Brossard (キューバ)



研修旅行は私にとって実り多い経験となりました。原爆ドーム、原爆の子の像、また、広島平和記念資料館への訪問はとても印象深いものでした。

被爆体験伝承講話を通して、広島原爆がどのように日本人に影響を及ぼしたのかをより多く学ぶことができました。二人の広島被爆体験者の過去を身近に学び、とても悲しい気持ちになりました。





楽しむのは今です。



原爆ドーム

また、原爆被爆者の少女、佐々木貞子さんについての話はとても感情に訴えられるものでした。もう二度とこのような原爆被爆者を出してはいけません。

そして今、私は、日本人にとってのこの被爆の意味するものをより強く認識するようになりました。

野島断層保存館では、体験コーナーで地震の体験をしたこと、また本物の断層を見ることが出来たことはとても驚くべき経験でした。また、日本の地震活動についてより多くの知識を得ることができたこともとても素晴らしい経験でした。

阪神・淡路大震災での記憶を語り継ぎ、地震がいかに破壊的になり得るかを多くの人々に伝える姿勢にとっても好感を持ちました。

人と防災未来センターはとても気に入った場所の一つです。日本は大きな地震とそれにより引き起こされた津波で甚大な被害を受け、多くの人命を奪われたにもかかわらず、それを克服することができた、といえます。

地震により引き起こされる恐れのある被害への、日本人の防災に対する能力にとっても感銘を受けました。

この研修旅行は日本人の文化と歴史を知る素晴らしい機会でした。金閣寺や、二条城、京都御所のような美しい場所を訪れることができ、とても楽しい時間を過ごしました。また、宮島、厳島神社では、いくつかの宗教儀式を体験することができたのはとてもよい経験となりました。

(3) Ms. Mako Ronneliah Sitali (ナミビア)



関西・広島方面研修旅行は、とても教育的で、また楽しいアクティビティでもありました。一生に一度のまたとない旅となりました。

日本で最速といわれている新幹線はとても素晴らしい経験で、初めて電車に乗るとこの息をのむような体験は、大切な思い出となりました。

広島へと向かう途中、美しい富士山の姿を見ることができました。それはコーンに乗ったアイスクリームのように見るだけで食欲もそそられました。

宮島は、日本人の信仰をよく表すリアルな環境であったと思います。日

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEEと卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
http://iisee.kenken.go.jp



宮島

本人は神様へのささげものや、願い事をするために神社にお参りをします。将来を占うためのおみくじも売られています。信仰熱心で、神様への強いつながりを持つ人々を見ることができたのはとてもよい経験でした。海に浮かぶように建てられた神社はとても珍しく、魅力的でした。

歴史的な都市、広島への訪問は自身の高校時代、第二次世界大戦の真実について学んだことを思い出しました。被爆体験の伝承講話では、核兵器使用による負の影響、またそれが人類にとっていかに危険であるかを

をより深く知ることができ、とても有益なものとなりました。

1945年8月広島を襲った原爆がどのように日本人に影響を与えてきたかを知ることができました。この訪問は、広島での歴史上の出来事への個人の認識を高めるのに極めて重要なものでした。核兵器がいかに罪もない人々の生活を大量に破壊し、特に日本においては多くの家族を破滅させてきたか、ということの現実把握の意味もありました。壊滅的な出来事後、どのように人々の生活が変わってしまうかを知るこの体験は何と感情を揺さぶられることだったでしょう。

野島断層への訪問は、科学的見地から地震学研究に本質的に重要であるテクトニック構造を思い描くきっかけとなりました。野島断層で見られた地表の断層変位は、地震が発生した際、実際に何が起こったのかをより良く例示したものでした。このように明確に定義された現実のテクトニック構造を観察することができたことはとても珍しく一生忘れることのできない思い出となるでしょう。

実際の地震がどう感じるのか私たちが理解できるよう、マグニチュード9.0の地震による揺れを体験しました。その感覚はまさに本物のようでした。怖さと同時に刺激的な気持ちが入り交じりました。

私のように、活動的なテクトニック地域と定義されていない、ほとんど地震災害を受けない地域からの出身者には驚くべき体験でした。人と防災未来センターでは、壊滅的な地震災害の際の被害軽減策を学ぶことができました。

京都では、日本文化を楽しみ、そして知ることができました。日本の偶

像、偉大な侍や忍者の生活様式に着目しました。日本人の彼らへの称賛、敬意は驚くべきもので、若い世代、世界へも知識を伝承し、歴史を保存し続けています。寺院や城郭のデザインもとても魅力的で素晴らしく創造的な建築設計はいかに日本人が偉大な革新者であるかがわかります。

ぜひ皆さんにも、この魅力であふれる島国、日本を訪れ記憶に残る思い出を作られることをおすすめしたいと思います。

国際親善パーティー

国際地震工学センター 管理室長 飯竹理広

現在は、通年コースとグローバルコースが開講しており、賑やかな時期です。今年も、お昼休みを利用して、研修生とのフレンドシップパーティーを建築研究所内の食堂で行いました。（2018年2月13日）

緑川理事長や澤地理事もご出席いただき、楽しい時間を共有できました。



国際親善パーティー

2018-19 年度研修生募集

国際地震工学センター 管理室

JICA は、2018-19 年度の通年コース(地震学コース、地震工学コース、津波防災コース)の募集情報を発信しました。選ばれた国はバングラデシュ、エクアドル、エルサルバドル、コロンビア、ミャンマー、ネパール、ニカラグア、ペルー、フィリピン、トルコ、およびバヌアツです。この情報を、海外留学を希望する同僚や部下に伝えていただければ幸いです。申請期限は4月13日ですが、これはJICAの現地事務所から東京のJICA本部に申請書を送付する最終日です。そのため締め切りはさらに早く設定されます。詳細についてはJICA 現地事務所にお尋ねください。

応募のための英語力証明

国際地震工学センター 管理室

2018-19年度の通年コース(地震学コース、地震工学コース、津波防災コース)では、IISEE、BRI、DMP、GRIPSの協力の下、修士号を取得することが出来ます。このコースは、ディスカッションに積極的に参加し、アクションプランや研究報告書を作成することが含まれており、会話と構成力の両方において高い英語力を必要とします。したがって、応募者は、話す、及び書く英語において堪能であり、TOEFL iBTでは79、IELTSでは6.0を最低でも保有していなければなりません。GRIPS / BRI 修士プログラムの申請者は、上記英語の証明書、あなたが卒業した大学にて講義が英語で行われていたことの公式証明書、または米国、英国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、アイルランドにある認定機関の学位を提出することが必須です。

微動アレイ探査のためのフリーソフトウェア

国際地震工学センター センター長 横井俊明

IISEE-NET HPにて、微動アレイ探査ソフトウェアの改訂版を公開しました。

SPAC2017:

http://iisee.kenken.go.jp/net/SPAC_FREE_PROGRAM/SPAC2017_Ubuntu_open4public/SPAC_PROGRAM_DOWNLOAD.html

CCA2017:

http://iisee.kenken.go.jp/net/CCA_FREE_PROGRAM/CCA2017_Ubuntu_open4public/CCA_FREE_PROGRAM.html

上記の URL をご確認ください。

バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>